

平成十二年一月 発行
発行責任者 細川勝也



「新しい年にあたり」 細川勝也

新春明けましておめでとうございます。当町会の会長に就任し、早一年になろうとしております。やっと町会の仕事に少しづつ慣れて参りましたので、今年には皆様とともに全力で当町会の発展の為に頑張つてまいります。皆様方におかれても明るい楽しい町会になるようご協力のほどお願い申し上げます。

新成人おめでとうございます。

町内会の新成人(以下六名)の方々に一月八日、成人のお祝いをお配り致しました。
雅楽さん(女性)、沖山さん(男性)、熊谷さん(女性)、久門さん(女性)、進藤さん(男性)、二国さん(女性)。

「成人の日に想う」 松倉喜富

輝かしい西暦二千年を迎え、新成人の皆さんおめでとうございます。私は近年わが仲町会で成人の日を迎える新成人がほんとうに少なくなっているのに驚いております。振り返って昨年迎えた新成人はわずかに五名でした。さて今年の成人の日には何名の新成人を迎えることが出来るのか気になっておりました。今年は昨年をわずかに一名上まわる六名でした。

大分昔の話になりますが、私が町内しらとり子供会会長をやめて、当町会のお手伝いをするようになった昭和四十五年頃の仲町会は、毎年十五名から二十名の新成人を迎え、町会からお祝いの記念品を贈り、また町会長は新成人のうち代表者とともに氏神様である飛木稻荷神社の成人式典に参列して祝福しておりました。

(別表参照 新成人の昔と今)

このような少子化傾向は、小学校児童を主な会員としている町内しらとり子供会の現状など、もっと深刻ではないかと思えます。

いま少子高齢化社会への対応が国を挙げて問われておりますが、このことは前記のように小さなわが仲町会も決して例外ではなく、ほんとうに身近な問題として改めて痛感しているところです。

仲町会役員の皆様には、日ごろ町会運営にご尽力頂いておりますが、これからの少子高齢化社会に向けて更なる町の活性化を図るにはどう対応したら良いか、私達会員も一緒になって頑張りたいと思えます。

年 別	新 成 人
昭和 45 年	17 名
46	24
47	14
48	17
平成 8 年	6 名
9	5
10	5
11	5
12	6

仲町会の家族旅行 福利厚生部

福利厚生部では、昨年十一月十四日、伊豆への日帰り旅行を企画し、多くの町会員の方に参加していただきました。バスはほぼ満員状態、参加していただいた皆様には窮屈な思いをさせてしまったかと思えますが、事故もなく楽しい一日を過ごしていただけかと思えます。

今後とも、町内会の活性化のために、予算の許す範囲で皆さんに楽しんでいただけるイベントなど企画できたらと思います。

良いアイデアがありましたら、いつでも福利厚生部までお寄せ下さい。よろしくお願い致します。

交 通 部

昨年も当町会内では大きな事故もなく、無事に年を越すことが出来ました。まもなく「特別区交通災害共済」の加入申し込みがありますので、一人でも多くの人に加入していただければ幸いです。

防 火 防 災 部

歳末特別警戒にご協力有難うございました。六、四三二人の犠牲者を出した阪神大震災は十七日発生からまる五年を迎えました。人は喉もと過ぎれば熱さを忘れてしまい、いつしか防災グッズは押入れの中、ホコリをかぶっているのではないのでしょうか。また先日(一月十四日午後)京島の住宅密集地で火災が発生し、焼跡から女性の遺体が見つかる痛ましい火災事故がありました。

Y2K問題で日本中、世界中がゆれた年末年始、忘れかけていた防火防災意識、もう一度家族皆さんで話し合ってみては如何でしょうか。これからも、仲町会は皆さんのご協力によって住み良い町作りを目指していきましよう。

青少年育成部

従来、青少年育成部の活動は、殆ど墨中地区育成委員会の行事の中で遂行されてきました。そこで次年度は仲町会での青少年の為の行事を計画したいと思えます。そのための予算を計上していただき、ぜひ実現したいと思えます。

会館管理部

町会会館の清掃は各部の方々の協力によって行われておりますが、当番になった部により参加者に差があるようです。皆様の会館です。都合の悪いときは仕方ありませんが、年に二回強廻ってくるので、一人でも多く清掃にご協力下さい。

「一」 言

荒井金次

会計とは、広辞苑によると金銭・物品の出納の記録・計算・管理、その担当者とありますが(たいへんです)町会の要、と先輩の方々に言われ、だんだんそんな気がしてきました。

ガラス屋だけに先が見えることがございます。心がけていることは、日光のサル(軍団ではありません)見ザル、聞かザル、言わザル、に近づきたいと思っております。

しかし、今は一ツ手前の今市どまり。楽しい生活、楽しい町会を願っております。

○押上一丁目仲町会婦人会

「ゴミ回収方法の変更について」

本年二月二十八日より週三回のゴミ回収日のうち、一回が資源ゴミ（新聞紙、雑誌、ダンボール）の日になりませんが、資源ゴミは、なるべく子供会、婦人会で行っている毎月第二金曜日の廃品回収日に出してください。

週一回の資源ゴミ回収では、換金額になりません。廃品回収で出すと回収量により墨田区から報奨金が出ますので、従来どおり月一回の回収方法にご協力をお願いいたします。

「トイレレットペーパー（すみだっ子）の購入斡旋について」

トイレレットペーパーの購入斡旋は、基本的にはケース単位（十二ロール入*八パック、二、二〇〇円）ですが、一パック（十二ロール入、二八〇円）の購入の斡旋も行います。ご希望の方は、中村会長（電話三六二二二一・三六六）までご連絡下さい。

「新年会の報告」

平成十二年の婦人会新年会を、去る一月二十二日（土）に町会会館で多数会員出席のもと開催し、和やかに楽しいひとときを過しました。



○押すこやかチーム（OST）

前日以降の行事報告をいたします。

○十月一日（金）朝町内の清掃二十名

残暑の中皆さんと良い汗を流しました。

○十月九日（土）日帰りバスハイク二二名 バスで甲斐ぶどう狩りに行きました。連休前のため混雑し、帰宅が遅くなり今後の日程を定める際の反省材料になりました。

温泉につかり、ぶどう棚の下でぶどうをいただき、バスの中でビンゴゲームと一日をたっぷり楽しみました。

参加出来なかった会員のためにぶどうをお配りしました。

○十月十五日（金）高齢者福祉大会 五名 墨田区内全老人会の参加のため席が定められ少数の参加でした。歌、おどり、大正琴の演奏など盛り沢山のプログラムでしたが、私達のチームからの参加者がいないのが残念でした。

○十一月十六日（火）歩け歩け大会十六名 押上駅から江戸川駅裏手「小岩菖蒲園」に集合。他の会員も続々集まり総勢六〇〇名となり、ゼッケンをつけ江戸川河川敷を一時間ほど歩きまわさん記念公園へ着く。解散のあと、柴又帝釈天で昼食後帰宅しました。

○十一月二十八日（日）第四回誕生会二九名 十月、十一月お誕生の方々は十四人で記念の花束を贈呈し、昔懐かしい歌を歌い、輪投げもし、大笑いのうちに閉会しました。

○十二月十四日（火）忘年会 三一名 平成十一年さようならと一年間大過なく過せた事をみんなと喜びあう。手作りの煮物とサラダ等と暖かいお弁当で談笑しながら楽しく過しました。

○一月十六日（日）第五回誕生会二四名 十二月、一月お誕生の方々とともに恒例となった誕生会でした。体調をくずし欠席された方にはお見舞い申し上げます。これから元気にOSTの

行事等に参加できるよう願っています。

○しらとり子供会

「押仲」第二号が出てから四ヶ月、年も変わってしまいました。この四ヶ月子供会では、祭礼、親子スポーツ大会、クリスマス会と三つのイベントがありました。その中でも、もっとも大きな物がやっぱり祭礼。子供たちも楽しみにしている御神輿や模擬店、そして数年前から始まった祭礼太鼓など子供たちは大喜びでした。

祭礼太鼓は、一ヶ月前からの町会会館での雅楽さんの指導による猛練習の成果があったのか出来は上々、ご町内の皆様の評判も良かったのではないかと思います。

模擬店はゲーム等で大いに盛り上がりましたが焼そばの販売で、鉄板が一つしかなく焼くのに時間がかかるため買いに来ていただいた方々をお待たせしてしまふことが多々ありました。これは、鉄板と焼く焼くそばの量との物理的問題で今後の課題が残りました。

十月十七日、業平小学校で行われた親子スポーツ大会は、町内会の防災訓練と同じ日になってしまい、訓練に参加するため親子スポーツ大会に参加できないうお父さんがいたのは残念でした。

十二月二十四日、終業式の日クリスマス会を行い、子供たちはプレゼントをもらって大喜びでした。

そして、年が明けて平成十二年、西暦2000年。今年、しらとり子供会からは五人の子供たちが中学生になります。ところが小学生の新入生は一人です。朝の登校班も全員で十五人になってしまふ。中学生を合わせても二十五名、少子化の波は私たちの子供会にも

押し寄せてきています。少ない人数ですが、親共々頑張っていきたいと思えますので、町内会の方々の暖かいご支援を宜しくお願いいたします。この数少ない子供たちが、二十一世紀の押上一丁目仲町会の宝物です。

○編集後記

「押しな」第三号は如何でしたでしょうか。昨年末の発行予定が遅れましたことをお詫びいたします。これから町を楽しくする為に皆さんの執筆による記事に行きたいと思っております。ご協力有難うございました。

今後の記事について皆さんご意見などありましたら、遠慮なく編集委員にお申し出ください。なお、次回は三月末に発行を予定しております。

○広報紙作成の構成メンバー（敬称略）

編集委員（町会）細川、高橋、沖山、五月女、奥山、櫻井、（OST）多賀（左）、石田（京）、（婦人会）大橋、田辺、（子供会）東海、井上以上の協力を得て作成しました。

